

第2回姫路港港湾計画検討会 議事要旨

1 開催日時 平成29年3月27日(月) 13:30～14:35

2 開催場所 兵庫県職員会館 1階ホール

3 出席者(敬称略、五十音順)

稲田 雅裕(近畿地方整備局 港湾空港部長) ※代理出席:小野 正博

内海 将博(姫路市副市長) ※代理出席:高馬 豊勝

岡本 周治(兵庫県中播磨県民センター長)

糟谷 昌俊(兵庫県県土整備部長) ※代理出席:濱 浩二

川路 勉(神戸運輸監理部 海事振興部長)

黒田 勝彦(神戸大学 名誉教授)

藤井 隆(ひょうご埠頭(株)社長)

榎村 久子(京都女子大学 客員教授)

水田 裕一郎(姫路港運協会 会長)

宮里 一敏(姫路港長)

吉田 裕康(姫路商工会議所 専務理事)

4 議事

(1) 資料説明

事務局より、以下の内容について説明を行った。

- ① 第1回検討会における主なご意見とその対応
- ② 港湾計画の施設計画・土地利用計画(案)について
- ③ 港湾計画改訂までのスケジュールについて

第2回検討会の主な意見と対応

ご意見	対応(港湾課)
<資料2：港湾計画の施設計画・土地利用計画(案)について>	
<p>播磨臨海地域道路はルートが確定していないことから、姫路港港湾計画に反映できないとのことであるが、何らかの形で盛り込むことを検討してほしい。当該道路は数年後に都市計画決定される予定であり、これらの動きに合わせて計画に位置付ける等の文言を追加できないか。</p>	<p>播磨臨海地域道路は、姫路港の物流にとって重要な計画であると認識しており、現在概略ルートで計画段階評価に向けて作業を進めている状況である。今後詳細なルートが確定する段階において、港湾計画への位置付けを行うこととする。</p>
<p>広畑地区の港湾関連用地を工業用地に変更する案が示されているが、海上貨物を扱うための用地が不足するのではないか。</p>	<p>工業用地であれば、港湾関連用地に建てられる倉庫も建築可能となる。港湾利用と企業立地促進の観点からも、より条件を緩和するため、工業用地に変更する。</p>
<p>臨港道路吉美線の計画は削除して問題ないか。</p>	<p>既定計画で吉美線を位置付けた背景として、吉美地区での取扱貨物を広畑・網干沖地区へシフトするため吉美地区と広畑・網干沖地区を連絡する道路が必要と考えた。しかし、吉美地区の荷主の利用意向を確認すると計画段階とは状況が変化し、貨物取扱シフトは現実的ではないことから、今回素案では計画削除としている。</p>
<p>海浜計画はどの程度の規模を考えているのか。</p>	<p>詳細設計等は計画改訂後に行う。現時点では波浪・浸食を防ぐために潜堤を設置し、浚渫土砂及び覆砂で浅場・藻場を創生することをイメージしている。港湾計画上、海浜計画の記載は延長のみであるが、今後、詳細設計を進め、規模や具体的内容を検討していく。</p>
<p>姫路市中央卸売市場の移転予定地は予定臨港地区の対象外とするのか。港湾計画では、土地利用計画に位置付けないのか。</p>	<p>姫路市中央卸売市場の用地については、予定臨港地区の対象とするとともに、土地利用計画は、都市機能用地として位置付ける。</p>